学校番号	3021

令和２年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１・２年次
使用教科書	高校生の音楽１　（教育芸術社）						
副教材等	ベートーヴェン「歓喜の歌」（ハンナ社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本格的な芸術作品に触れ、挑戦する機会を持ち、高校時代に芸術に対する素養を身につけることを、教科の課題としています。

茨木高校音楽会は、１年間の授業の成果を発表する演奏会として毎年３月に開催しています。音楽会の企画・運営の中心は２年生の生徒が担い、１年生の生徒と共に運営をしていきます。

クラス合唱は、各クラスで選曲や指揮者・伴奏者を話し合いで決めて、練習スケジュールを立てて、クラス代表やパートリーダーを中心に、生徒が主体となって進めていきます。自分たちの目標を設定し、自主的に授業に取り組んでいく中で、リーダーシップやフォロワーシップの経験を積み、クラスがまとまって一つのものを創り上げていく過程で、主体性や協調性、責任感や使命感などを身につけることが目標です。

本格的な芸術作品については、毎年ベートーヴェンの『第九』に取り組んでいます。高校生がクラシック音楽の最高峰とされる難曲『第九』を、原曲の調性、ドイツ語で演奏することは、文字通り「挑戦」と言える課題ですが、２年間かけて勉強していきたいと考えています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 プリント	観察 プリント	演奏の聴取 提出作品	観察 プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1年　前期	イメージを持って豊かな声で歌おう	【歌唱】 校歌 交響曲第九番「合唱付」より 第4楽章 （ベートーヴェン） 前半部分	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 曲の構成などを理解し，その曲の雰囲気を感じ取って歌い方を工夫している c: 発声などを含め，表現の向上を図って歌っている	観察 演奏の聴取
	リズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】 クラッピングカルテット第1番	○	○	○		a: 自ら進んでさまざまな楽器の演奏に取り組もうとしている ・ 互いに協力し合って音楽をつくり上げようとしている b: 楽器の音色や響きの特徴を感じ取り，そのよさを生かした表現を工夫している c: 音量やアーティキュレーションなどに留意しながら，調和のとれたアンサンブルをしている	観察 演奏の聴取 プリント
	日本の伝統音楽や民謡を味わおう	【鑑賞】 ～芸術鑑賞会に向けて～ 日本の伝統芸能とその音楽 文楽鑑賞	○			○	a：日本の伝統音楽や民謡に触れ，日本の文化に対する理解を深めようとしている d：日本の伝統音楽や民謡に使われている声や楽器の音色を味わって聴いている	観察 プリント
1年　後期	アンサンブルの響きを味わおう～合唱曲を中心に～	【歌唱】 ～音楽会に向けて～ クラス合唱（混声4部） クラスごとに課題曲1曲・自由曲1曲を決定 交響曲第九番「合唱付」より 第4楽章 （ベートーヴェン） 後半部分	○	○	○		a: アンサンブルのよさを体感しようとしている ・ 互いに協力し合って音楽をつくり上げようとしている b:・ 合唱のよさを感じ取っている ・ 各パートの特徴や役割を理解している c: 曲にふさわしい発声の仕方で表現している ・ パート間のバランスなどに注意して表現している	観察 演奏の聴取 プリント

	鑑賞のステップアップ ～音楽会で演奏する曲を味わおう～	【鑑賞】 交響曲第九番「合唱付」 （ベートーヴェン）	○			○	a: 音楽や音楽文化に関心を持ち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている ・ ベートーヴェンの生涯や彼の作品に関心を持ち、ベートーヴェンの音楽表現の特徴を理解しようとしている d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、よさや美しさを味わって聴いている	観察 プリント
2年 前期	アンサンブルの響きを味わおう ～器楽曲を中心に～	【器楽】　ギター Happy Birthday to You 他	○	○	○		a: 自ら進んでさまざまな楽器の演奏に取り組もうとしている ・ 互いに協力し合って音楽をつくり上げようとしている b: 楽器の音色や響きの特徴を感じ取り，そのよさを生かした表現を工夫している c: 音量やアーティキュレーションなどに留意しながら，調和のとれたアンサンブルをしている	観察 演奏の聴取 プリント
2年 後期	アンサンブルの響きを味わおう ～合唱曲を中心に～	【歌唱】 ～音楽会に向けて～ クラス合唱（混声4部） クラスごとに課題曲1曲・自由曲1曲を決定 交響曲第九番「合唱付」より第4楽章 （ベートーヴェン）	○	○	○		a: アンサンブルのよさを体感しようとしている ・ 互いに協力し合って音楽をつくり上げようとしている b: ・ 合唱のよさを感じ取っている ・ 各パートの特徴や役割を理解している c: 曲にふさわしい発声の仕方で表現している ・ パート間のバランスなどに注意して表現している d: さまざまな合唱の形態を理解し，それぞれの響きや曲の雰囲気の違いを感じ取って聴いている	

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。